



2023年5月10日

各 位

会社名 ソーダニッカ株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 目崎 龍二
(コード番号 8158 東証プライム市場)
問合せ先 専務執行役員経営企画本部長 松尾 保幸
TEL 03-3245-1802

中期経営計画「Go forward STAGE3」策定のお知らせ

当社は、2023年度から2026年度までの4カ年を対象とした中期経営計画「Go forward STAGE3」を策定しましたので、お知らせいたします。

2022年度までの4カ年を対象とした前中期経営計画「Go forward STAGE2」では成長軌道を切り開くステージと位置付け、国内外での事業推進及び人事・財務政策等による経営基盤の強化に取り組んだ結果、目標とする経営指標を二期連続で達成いたしました。

一方で近年の環境の変化を考慮し、2022年度の期中に長期ビジョンの内容を一部見直すとともに、最終年度を2025年度から2030年度へと延長いたしました。長期ビジョンでは「化学・機能製品に関する商品からサービスまでのあらゆる機能を備え、顧客と社会が抱える課題の解決に貢献する企業」を当社の将来的なあるべき姿と定義しております。

この長期ビジョンに基づき中期経営計画「Go forward STAGE3」では、新たな成長軌道をつくるための「変革」を果たすという基本方針のもと、ビジネスモデルの発展に挑むとともに、成長投資と株主還元を念頭に資本効率の改善を図り、更なる企業価値の向上を図ってまいります。

概要につきましては添付資料をご参照ください。

添付資料：中期経営計画「Go forward STAGE3」概要資料

以 上

中期経営計画

「*Go forward* STAGE3」

概要資料

2023年5月10日

 ソーダニッカ株式会社

Go forward

化学・機能製品に関する商品からサービスまでの
あらゆる機能を備え、顧客と社会が抱える
課題の解決に貢献する企業

「事業価値」「社会価値」
双方の向上の実現

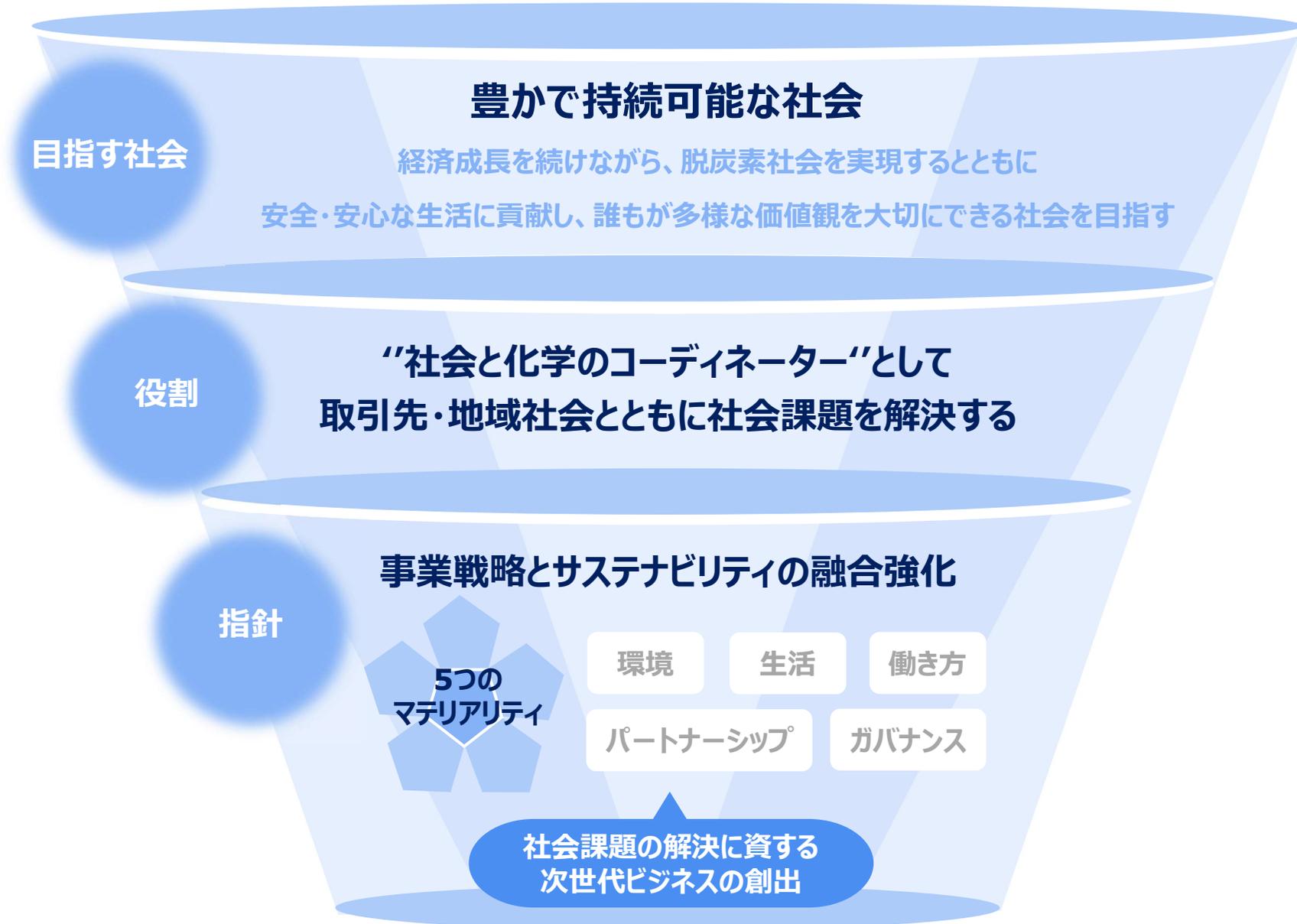
Start
2016

2025

New Goal
2030

「社会課題解決」を経営の根幹に据え、
新たな成長軌道をつくるため、期間を再設定

長期ビジョン：「目指す社会」と「役割」

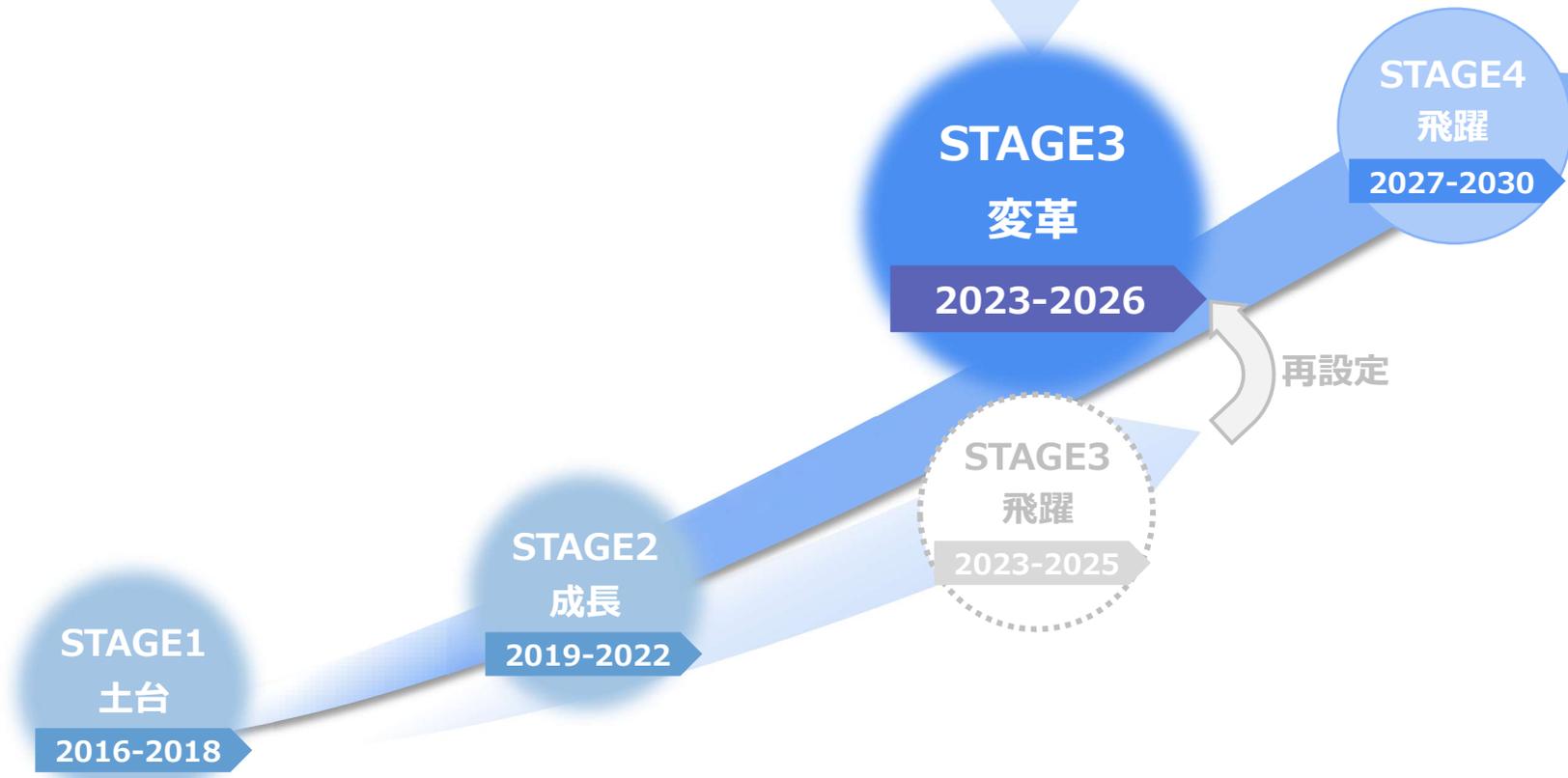


中期経営計画：Go forward STAGE3



基本方針 新たな成長軌道をつくるために「変革」を果たす

- サステナビリティ重視の潮流等の外部環境変化を機会と捉え、更なる成長につなげるために、各事業の特性に合わせて、市場と対話する力を徹底的に磨く
- 「社会課題解決企業への進化」に向けた新しい挑戦を補強する人財戦略、財務戦略を立案・推進する



中期経営計画：目標値



財務目標（2026年度末時点）

連結当期純利益

20億円

ROE

8 % 以上

配当性向

40 % 以上

投資枠（2023年度～2026年度累計）

基盤整備
+
成長投資

100億円

中期経営計画：事業構成



- STAGE3ではビジネスモデルの違いにより事業構成を再編
- 各事業の特性を最大限発揮し、更なる事業機会の獲得を目指す



中期経営計画：事業方針



基盤事業

化学品・機能材（工業薬品・樹脂製品・機器類 etc.）のトレーディングに関する事業

市場戦略
(マーケットイン)



商品戦略
(プロダクトアウト)



事業拡大
&
次なる事業の創出

Point 1

エリア戦略の再構築
・物流機能の活用・強化
・同業等との提携

Point 2

新たなビジネスモデルへの挑戦
・電子デバイス、エネルギー産業等
をターゲットに事業化推進

Point 3

生産者のサステナビリティへの貢献
・産業を支える「生産者」が抱える
課題解決に資する商品の提供

中期経営計画：事業方針



パッケージ・新素材事業

食品等のパッケージ及び、プラスチック代替素材（脱プラ・省プラ）等に関する事業

特徴

フィルム加工・卸機能を有する

「独立系商社」

方向性

国内外での

シェア・プレゼンス拡大

Point 1

国内市場での独自のポジション確立

- ・印刷・成型加工機能強化
- ・環境配慮型商品の開発/展開

Point 2

海外市場への深耕

- ・各現地法人における展開
- ・新たなポテンシャル市場への挑戦

Know-how

中期経営計画：事業方針



生活ソリューション事業

日用品・化粧品等の製造受託に関する事業

特徴

製品の原料～OEM製造提案まで

「一貫対応」

方向性

OEM/ODMマーケットで

独自のポジション構築

Point 1

専門人財の強化

- ・専門部署設立による、人財育成
- ・経験者の獲得

Point 2

協業先の拡大・連携強化

- ・OEM/ODMの対応製品拡大

方針

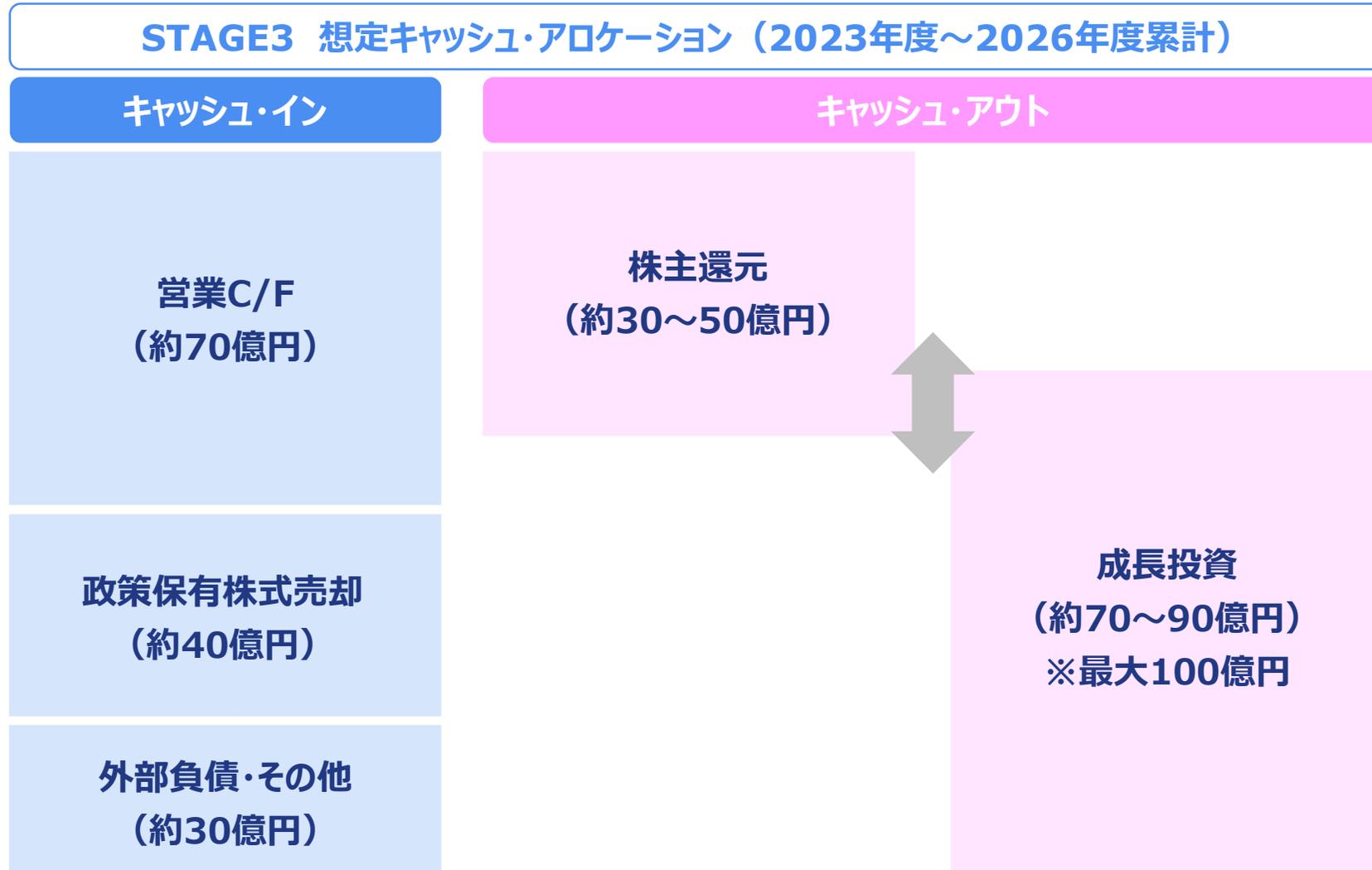
- 「攻」への意識改革の実現
- 戦略実現のための人財ポートフォリオの実現
- ダイバーシティの実現



中期経営計画：キャッシュ・アロケーション



- 企業価値向上に向けた積極的な成長投資と、安定した株主還元を目指し、最適なキャッシュ・アロケーションを実施





免責事項

本資料における、中期的な目標値等、将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報による判断

および仮定に基づいたものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、実際の業績等は様々な要因の変化により、将来予想とは異なる結果となる可能性がある旨、

ご承知おきください。